

Studio “F”

『Studio“F”』No.2の発行です。

今年度、学校施設で親楽を実施したのは、本庄小・雑賀小・附属幼稚園・忌部小の4つでした。コロナ感染拡大がなかなかおさまらず、学校等で親楽を実施するのが、今年度も難しい状況でした。来年度、この状況が改善し、各学校からの依頼が増えてほしいと思います。

TOPIC

- ・親楽プログラム実施について
- ① 本庄小…メディア
- ② 雑賀小…人権
- ③ 附属幼稚園…子育て学習
- ④ 忌部小…新入生説明会

本庄小でメディア、雑賀小で人権に関する親楽を実施！

本庄小学校 7月1日(木)

前年の学校保健委員会でメディアのアンケートを行い、90%以上の児童がインターネット機器をもっている現状から、親楽のプログラムでメディアについて考えました。

〈プログラム名〉「ケータイ・インターネットとのつきあい方」【ラベルワーク】

高橋杏実奈・吉廣則子 ファシリテーター 17名参加



「参加者の感想」

- ・解決しようと思わずに、怒る回数が減ったなど思えるように声をかけようと思います。お話をしたらすっきりしました。
- ・怒って声をかける前になぜしてほしくないのか、心配していることを話してみたいと思います。
- ・問題点を出し合って、解決方法をみんなで考えたのもよかったと思います。

雑賀小学校 10月13日(木)

人権の公開授業に合わせて、保護者も人権に関する親楽を実施しました。役割演技をしながら、子どもの心に響く伝え方はどんな言い方がよいか、みなさんで考えました。

〈プログラム名〉「心に響く伝え方」【ロールプレイ】

秋山さおり ファシリテーター 33名参加



「参加者の感想」

- ・私にゆとりがないときは、つい頭ごなしにキツク注意してしまいます。自分の子であっても、心を持った大切な他者であるので、相手を尊重して、安心できる家庭をめざそうと思います。
- ・子どもの気持ちに共感し、楽しくやる気の出る言葉かけをしていきたいです。
- ・初めて参加しました。子どもの気持ちになり、想像させてくれる内容でした。子どもはこんな気持ちだったんだと、ハッとさせられました。

附属幼稚園は毎年「子育てフリートーク」で、

忌部小学校は新入生説明会時に親楽を実施！

附属幼稚園 2月3日(金)

保護者研修会「子育てフリートーク」の講座として親楽を実施しました。附属幼稚園は、毎年親楽を実施しており、今回は「あなたならどうする？」のワークで、「スマホを持たせた方がいい？」「我が子と他の子を比べてしまう？」などのテーマでみなさんとお話をしました。

〈プログラム名〉「あなたならどうする？」【インタビュー】

高橋 杏実奈 ファシリテーター 10名参加



大雪で寒いときでしたが
みなさん意欲的に参加されました



「そう思う」「少しそう思う」
「あまり思わない」「そう思わない」の4つのコーナーに移動します

《参加者の感想》

- ・これからも楽しく、人にも頼りながら、自分も子どもと成長していきたいと思いました。
- ・これからは意識して、子どもを肯定すること、気持ちを聞いて理解すること、後悔しないように子どもと関わっていきたくて思いました。
- ・時々こうして、みなさんの意見や体験談を聞いたり、思っていることを話したりすることは、気持ちのリフレッシュになりますね。

忌部小学校 2月9日(木)

新入生保護者会説明会後に親楽を実施しました。これまで新入生保護者説明会での親楽をPRしてきましたが、今年度、親楽を実施したのは、忌部小のみでした。30分の短い時間設定でしたが、入学前に保護者同士が少しでもつながるという点で、貴重な時間となりました。忌部小のでは、子どもの幼稚園・保育所等がちがう方が多く、こういう場がより必要だと感じました。

〈プログラム名〉「我が子の関わりで大切にしたいこと」【カードワーク】

高橋 杏実奈 ファシリテーター 16名参加



ファシリテーターの声かけで
話が盛り上がっていました



名刺カードには「ほめる」「話をしっかり聞く」
「目を見て話す」など書かれていました

《参加者の感想》

- ・自分では「忘れがちだな」「できていないな」ということを思い出せたので、とてもいい時間でした。
- ・他の保護者さんがどんなことを子育てで大切にしているか、友達同士でも聞くことはないなので、良い機会になりました。
- ・子どもに対する想い、気持ちは、他の親さんも同じだなと思いました。

松江市教育委員会生涯学習課 担当：林、山田

〒690-8540 松江市末次町 86

TEL : 55-5288

FAX : 55-5543

E-mail : oyagaku@city.matsue.lg.jp